

臨 機 な 対 応

防除農薬には耐性菌，除草剤には選択性の差による雑草分布の変化という現象がある。現地では，使用農薬類の転換をはかる必要が生じてくる。これまで，関係者の努力で，残留を含めた薬害をかなり克服してきた経過に，心から敬意を表したい。それでも，現地ではなお薬害事故対策や処理に，しばしば心を痛める。この面での農薬類選択も，なかなかややこしい。恒常的な対応のほか，大発生時～気象変動時には，しばしば思わぬ現象が現れる。これらを組合せて，科学的見透しによる臨機な対応がどうしても必要になってくる。

ところが，農薬類の流通が複雑なしくみになっているから，円滑にはいかない。よく立ち寄るいくつかの農協では，試行段階に入っているが，一般化していない。一方，農薬類開発への投下費用を考えた場合，簡単な対応では勿体ない。乱用をさせて，大切に使い分けることが基本だろうか，と思ったりしている。たとえば，各県で関係者が莫大なエネルギーと費用をかけて作製している「防除指針」がある。ごく簡単な外国の諸例にくらべ，驚くほどである。もっと身軽になったならば，如何かと思う。流通面でも，同様なことがいえよう。身軽になるスペースをつくらないままにいれば，なかなか臨機な動きがとれない。

各種情報の迅速な整理・再組合せ〔単純な情報伝達だけでなしに〕を進めていくことも大切で，臨機対応の基礎になるだろうと思っている。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事
北 陸 支 部 長 丸 山 篤〕

目 次 (第15巻第7号)

インドネシアにおける雑草と防除…………… 2

＜農事試験作研究センター 中山兼徳＞

1. 水稻作の概況と雑草防除…………… 2

2. 普通畑作の概況と雑草防除…………… 5

3. エステート農業の概況と雑草
防除…………… 6

4. その他の雑草防除…………… 7

5. む す び…………… 8

河川敷雑草とその防除…………… 8

＜日産化学工業株式会社 荒井福哉＞

1. は じ め に…………… 8

2. 河川敷について…………… 9

3. 堤防の雑草について…………… 11

4. 高水敷の雑草について…………… 12

外国文献抄録

雑草科学における新しい技術…………… 15

＜鈴木 照磨＞

新除草・調節剤

・植物成長調整剤「ブトックス乳
剤」…………… 19

・クロルフタリム除草剤…………… 19

表紙の写真は，カタバミの種子表皮細胞を走査電子顕微鏡で撮影したもの，
亀甲突起型，4000倍。

〔写真提供者；笠原安夫氏〕